

9月「連合奈良の日」街宣行動 主権者教育と奈良県最低賃金 改定を訴える！！

9月7日に「連合奈良の日」を近鉄橿原神宮前駅で行いました。今回の行動は、コロナの感染拡大の中、ビラとティッシュ配布を行わず、マイクでの街宣行動を実施しました。



街宣行動については、総選挙を目前に控え、政治への関心を喚起するため、主権者教育に関わって、若年層の投票率が高齢者の三分の一の実態を踏まえ、「投票棄権は政権政党に

白紙委任状を渡すことになる」等の訴えを行いました。また、10月から改訂される奈良県最低賃金について、28円引き上げの866円となり、中央・地方一体となつての連合運動の成果を訴えました。



推薦議員からは、各自治体でのコロナ対策の取り組みや個別課題について、訴えが行われました。

推薦議員：森山県議会議員、上田橿原市議会議員、工藤桜井市議会議員、和田県議会議員事務所南浦さん

奈良県第3区選挙区 立憲民主党候補者擁立せず 『見送り三振』

政権選択の衆議院総選挙が目前に迫ってきました。私たちの生活は政治により大きな影響を受けます。政治には無関心だったとしても、政治と無関係では生きていけないのが今の世の中です。来るべき衆議院総選挙では、自民党政治に終止符を打ち、政治の流えるため『政権交代』を実現しなければなりません。

しかし、残念なことに奈良第三区選挙区では連合と友党関係の立憲民主党が公認候補を擁立出来ず、自民党も理由はわかりませんが、公認候補を擁立しないと報道されています。三区選挙区は立憲も自民も候補者を立てない、全国でも稀な(唯一?)の選挙区となります。

衆議院選挙は、他の選挙と異なり、候補者の当落を決めると同時に、選挙以降の政権担当を決める政権選択の政党選挙です。その選挙に際し政党が有権者に選択肢を示せないのは、『有権者軽視』であり、公党としての使命を全うしていません。2009年の総選挙では、当時の民主党は全国すべての小選挙区に候補者を擁立し政権交代を実現しました。また、奈良県内でもすべての選挙区で候補者を擁立し自民党政治と対峙し、闘ってきた先人たちの努力を水泡に帰すようなものです。今回の立憲民主党の『見送り三振』は、『政権交代』を実現しようという決意も見られず、政治不信を増幅させる極めて残念なであり、闘う前から敗北を認めているような対応です。

立憲民主党には『ハチマキ』を締め直し、公党の責任として『政権交代』に向けた強い決意を有権者に発してもらいたいものです。

労働相談ホットライン ※連合奈良につながります。

フリーダイヤル いこうよれんごうに
☎0120-154-052

